

2009年3月15日  
第181号

題字 住谷悦治



燎原社  
(京都の民主運動史を語る会)  
代表 岩井忠熊  
事務局  
京都市左京区高野東開町1-23  
第三住宅33-302 井手幸喜  
〒606-8107  
tel & fax 075 (722) 3823

B O O K 9	占領下、京都の青年団運動を語る 父タカクラ・テルと幸徳秋水と京都 レッド・ページに名誉回復と補償を N P O 法人・京都社会労働問題研究所が発足 悼・若杉光夫さん 忘れ得ぬ人 能勢克男さん	[連載]
	西山 秀尚 高倉 太郎 関谷 健 湯浅俊彦 馬原 郁	西山 秀尚 高倉 太郎 関谷 健 湯浅俊彦 馬原 郁
	12 11 10 9 7 4 2	

[連載] この一枚

## 倒された 山宣の墓碑

(戦前、官憲は墓すら建てさせなかった)



執筆者紹介

西山秀尚(にしやま・ひでたか) 元日本共産党京都府議団長。元京都府連合青年団・日本青年団協議会幹部。伏見区在住。

高倉太郎(たかくら・たろう) タカクラ・テル氏の長男。東京都昭島市在住。  
関谷健(せきや・たけし) 元・京都市立日吉ヶ丘高校教諭。右京区在住。

湯浅俊彦(ゆあさ・としひこ) 本会世話人。「燎原」編集担当。京都府大山崎町在住。  
馬原郁(まはら・いく) 本会世話人。左京区在住。

あまりにも有名な句である。1929年3月4日(翌日、東京・神田の宿舎で右翼テロで一命をおとす)、大阪天王寺公会堂の日本農民組合全国大会で、山宣は力強く演説した。「孤星」ではなく「赤旗」であったと証言する人が多い。「卑怯者さらば去れ我等は赤旗守る」—「赤旗の歌」を口ずさむ山宣にしたら、そして、山宣の母堂の願いで、旧労農党の党旗(赤旗)で遺骸がつぶまれたことからも「赤旗」だとしておかしくはない。

戦前、山本宣治の碑としては建立が許されず、山本家の墓とされた。大山郁夫書の碑文はセメントで塗りつぶすまでは建立も許されなかつた。しかし何度も塗りつぶされても、いつの間にか彫りとられていた…。このことは西口克己の小説『山宣』の序章にも詳しく紹介されている。

山宣ひとり孤星を守る  
だが私は淋しくない  
背後には大衆が支持しているから

# 占領下、京都の青年団運動を語る（上）

08年12月例会の報告



西山秀尚

（元日本共産党  
京都府会議員団長）

戦後京都の青年団については、京都民報連載『戦後京都の歩み』（かわ出版から88年9月刊行）に、書きました。今日はそこに書いたことを中心にしながら、自由に喋らせて頂こうかと思っています。

青年団については、その他にも、『前衛』62年9月号に「統一戦線と地域青年団」という論考を書いています。ちょうど46道府県で、200万人の農村青年、未組織労働青年を組織していた日本青年団協議会（日青協）が反動化するなかで、日青協の民主化を闘っていた時期のことです。戦前の思想善導、海外進出のために軍の予備隊として育成された青年団が、戦後、何故自主的に組織され抜がつていったのか。そんな問題意識をもつて、政府、反動勢力の青年対策のあり方について記述しました。

前後して、社会教育学会が『講座日本の社会教育』を刊行した時、そのなかの「青年教育」の巻で、「農村の変貌と地域青年」も書きました。これは、戦後の農業と農村の変化にあわせ、岸そして池田内閣が、社会教育の分野で青年対策を強化し始め

た時期の特徴、農村青年の意識と生活の変化も含めて描こうとしたものです。

いずれも、戦後の枠組みが確定していくなかで、青年団運動に実際関わっている者としての発言で、『戦後京都の歩み』とは、ちょっと趣を異にしています。

## 戦前の青年団の歴史

望田幸男先生の著書『ドイツ軍国主義の社会史』、それから『ドイツ青年運動－ワングルホーゲルからナチズムへ』という本が人文書院から出ていますが、ワングルホーゲルからヒットラー、ナチスのユーベントに変わっていく、それと闘えない状況が書かれています。

日本の場合は少し違つて、昔から農村や漁村には、若衆組とか若者連中とかいう、村の祭祀を覚えさせるとか、農・漁業を教えるとか、15歳になつたら青年がひとつ宿に集まつて教育を受けるというのがあつた。そういうのが青年団だと考えられる方が今でも多いのですが、日露戦争のあと社会主義の運動がボソボソ始まつてくるなかで、政府は青年

を組織して対抗する。1915年内務大臣と文部大臣の両方から、青年団をつくれという通達が出た。1920年には、明治神宮の造営に全国の青年が動員され、全国の青年の寄付で明治神宮の横に日本青年館ができました。

それと表裏一体で、1925年には大日本連合青年団がつくられました。ドイツと違つて、始めから軍部が挺入れをして、思想善導にあたつてきました。大日本連合青年団の役員は、日本青年館から5人、地方から5人出ていているのですが、日本青年館側の代表には、内務省と文部省の役人が一人ずつ入っている、地方の5人も全て府県の青少年係で青年はないという役員で運営されていく。日本が中国への侵略を本格化させるなかで、1939年に大日本青年団、翌年には大日本青少年団、敗戦の年5月には、もう青年はいませんから解散して、ちいさい子どもで学徒隊というものを組織して、本土決戦に備えます。

並行して、1938年に青年学校が義務制になり、中学や高等学校に出来ていて、その時は私より七つ年上の山田善一（のち民社党市議）が団長だった。ところが、自治体をめぐつて6大都市と府県との間で権限争いがあり、官制の組織ですから、郡部の青年団と京都市の青年団が分

訓練（勿論農業や職業教育も受ける）が、主として軍事訓練を受けるという、日本の青年団はずつと国家の予備軍としての重要な柱として位置づけられてきた、それが戦前の青年団の歴史だったと思います。

## 復員、地元の青年団員に

敗戦直後の9月25日、早くも、文部省から青年団の設置と育成に関する通達が出ています。日本の旧来の保守勢力は、民主革命を流産させるために、その有力な部隊として青年団を組織していこうとします。私が兵隊から帰ってきたのが翌46年の4月でした。小学校の同級生から青年団に入らんかという誘いがあった。それは面白いなと思って、地元の青年団に入つた。マラソンは得意だったのですから、運動会ではいつでも一番、郡の大会で優勝して、47年には体育に熱心やからと、郡青年団の体育部長を引き受けました。

## 再建の日、震災の福井へ救援に

1948年に京都の青年団が再建されます。青年団そのものは46年に出来ていて、その時は私より七つ年上の山田善一（のち民社党市議）が団長だった。ところが、自治体をめぐつて6大都市と府県との間で権限争いがあり、官制の組織ですから、郡部の青年団と京都市の青年団が分

裂してしまった。郡部だけは47年に再建されて、京都市との分裂でがたがたした翌年の1948年6月28日に再建大会をやつて役員を選ぶ、「お前は京都市内に勤めていて府連絡を取るのに便利だから書記長になれ」と書記長をやらされました。

ちょうど再建のその日に、福井大震災が起きました。だん王法林寺にあつた青年の家に泊まっていたのです。が、その日のうちに、京都府の民生部から福井が大変だから救援に行つてくれという要請があり、急遽、第一次80名、第二次120名、合わせて200名が救援に行きました。行つてみて吃驚したのですが、日本で初めて公安条例が出され、民主団体の救援部隊は全部福井駅から追い返されました。残っているのは青年団だけです。真面目というのか何にも知らんものですから、一生懸命頑張りました。残っているのは青年団だけです。福井県は、知事と連合青年団長の連名で全員に召集状が出された、何月何日に救援に集合せよと。福井は震火災と言われているのですが、九頭竜川と吉井川に地震でひびがはいり、梅雨時ですから水害になつた。その救援に、戦争中と同じように命令一本で召集され

京都に帰つてきて、府の社会教育課におられた信ヶ原良文さんからの

尻叩きもありまして、新村猛先生、細野武男先生、岡本清一先生などを招き、府下から全役員をだん王に集めて講習会をやりました。

ここから考えが変わりました。福井の震災で、戦争中、赤紙一枚で召集されたことと同じようなことがおこなわれたことの意味が分かつてきました。他の府県と違つて、京都府の青年団が変わっていく第一歩だったと思います。

### 占領軍に呼び出されたが：

丁度この頃、戦争中のこともあって、青年団に警戒的だったGHQの政策が変わつてくる。

1947年頃から、青少年指導者講習会（I.F.E.L.）をやりだした。

キヤンプをやつたり、ボイスカウト、ガールスカウトの類です。それまでは、岐阜や宮崎など連合青年団を作つていたところは解散させられただのですが、47年頃からむしろ青年団を育成させようとする。京都でもCIE（民間教育情報局）のファイルムライブリーチ、アメリカ的な映写機を使って全府下持つて回るといふことがやられ始めた。

### 「日の丸平和運動」に反対し入党

1949年の3月に鳥取県の三朝で全国大会が開かれました。それまで全国組織を禁止していたアメリカ



府下の青年団活動は自主性を確立して民主勢力を一翼を担つた（『戦後京都のあゆみ』より）

命令に因縁をつけられ、四条烏丸のビルにあつた第一軍団に呼び出された。そこで、軍隊式の命令をしたのではなく、右翼的で軍国主義的だから解散せよと言われ、京都市の青年団は解散してしまつたのですが、府の青年団は、「内緒でやろうかい」と府とも縁を切り、一銭も金を貰わずに自主的な運営をおこなつた。青年団の主性を確立した転機になりました。

担当していたP・アンダーソンが大会に来て、挨拶せろと言う。どうせ私たちの動きは間違いだというに決まつていて、「しようがないからさせろ」「絶対反対だ」午前中大論議で、ようやく昼過ぎに、運動方針を決めてから挨拶せようという意見が多数になつた。そうしたら、P・アンダーソンが怒りまして「こんな侮辱を受けたことは初めてだ、帰る」と言つて退場したので、万歳、万歳で「挨拶せろ」と言つた方も、みんな拍手しました。（以

下次号へ）

（文責・井手幸喜  
ティー・プリライト・馬原郁）

# 父タカクラ・テルと幸徳秋水と京都

高倉 太郎

これは、タカクラ・テルの晩年、父が私してくれた話の断片を、できるだけ正確につなぎ合わせたものである。

## 「幸徳秋水の墓に詣づる」

「幸徳秋水の墓に詣づるの記」  
高倉 輝  
11

ページを見つけた。その最初には次のように書いてあつた。

「一月二日。

この日幸徳秋水の墓に詣で申し候。

秋水は高知県の南端に近き幡多郡中村町の生まれ、今もこの地に其の墓有之申し候。これは知る人も固り多かる可しと存じ申し候。小生の郷里も同じく此の幡多郡、中村町より帝第一の皇子尊良親王配所の遺蹟に有之候が、右に就ても漸く最近に至つて小生は多少詳細なる知識を得申し候様の次第に有之候。

小生は幼少の頃より多く他境に人

と成り殆ど郷里の地を知り不申候。随つて幸徳秋水も小生に取つては全く同郷の人なる感じは致し申さず候ひき。

且つ小生は遂に秋水の文章を読みたる事無之候。随つて秋水に関する事は全く知る所無之候。只だ其の文章の非常に簡潔にして透徹したる点を良く故師兆民の遺鉢を傳へたるものとして何人かの賞揚したるが記憶に止まり居候位に御座候。秋水が大逆の罪に坐して死を得るに至り候までの消息も小生の記憶は甚しく明瞭を缺き居り申し候。かの期くまで一世を動かし申し候大事件も何故か当時小生の心を深くは牽かざりしと記憶致し候。當時小生は高等学校の学生にて候ひき。

小生の母は少時秋水と相識の間に御座候ひき。且つ母は秋水の母とも親しかりしものと見え、度度その人尚ほ飽くことを知らず母にねだつて此の話を聞かんと致し申し候。

(以下略)

## 荷風の態度に心から共感

(テルは語る。)

候。併し、斯くの如き零細なる記憶は決して此の度小生が秋水の墓に詣で申し候動機にては無之候。

小生には如何にしても秋水の名を忘じ難き他の理由有之。そは小生幼児母より寝物語に聞き申し候安岡熊本縣令慘殺の物語に關して御座候。母はその物語の終りに常に申し候ひき。此の安岡縣令の妹こそは秋水の母なる人なりと。母の家は此の安岡家と相識る事最も深く、母が少時秋水と面識を得るに至り申し候も此の安岡家に於ての事に御座候。小生の母は余程この秋水の母なる婦人に私淑致し居り候ひしものと相見え候。

この安岡縣令慘殺の物語ほど幼き小生の心を動かし候ものは無之、今なほ烙き附けられたる如く小生の記憶に止まり居り申し候。聞く度毎に此の話を聞かんと致し申し候。

## タカクラさんのこと

山宣や安田徳太郎らの調査で存じており、信州の別所温泉には彼らの碑が並んでいる。長野山宣会では彼の碑の建立十五周年を記念して「タカクラ・テルのすべて」と題する小冊子を出した。私も秋にはこの地を訪れ、長男の高倉太郎さんにお会いしている。

そんな時に「お父さんの評伝を紹介してほしい」とお聞きしたところ、「またの機会に」と。「では年譜はありますか」とあつかましいお願いをしたところ、その返事としてこの未発表原稿が送られました。原題は「タカクラ・テルと幸徳秋水」です。

(小田切)

私の略歴

高倉太郎

1925年(大正14年)生まれ。45

年7月、米軍の集中爆撃で神奈川県大磯町坂田山の自宅が全焼。家族は着のみ着のままで焼け出され、他人の家に厄介になつてゐるとき、豊多摩刑務所に入れられていた父から、八杉貞利さんとの「露西亞語学階梯」(大正5年刊)と岩波書店の「露和辞書」が返還され

てきました。読む本が一冊もなかったので、この「露西亞語学階梯」を何回も読み返し、敗戦後の同年10月、父が釈放されて帰つてくるまでに、辞書さえあれば大体の意味が分かるまでロシア語が読めるようになりました。以後、父のカバン持ち、秘書として、父についてまわり、言語学のイロハを学びました。小宮山量平さんの理論社から「猛獸使いの回想」「ジョリオ・キュリー伝」「森の新聞」などの訳書を出しています。

永井荷風がフランスにいたとき、かれいのドレフュス事件をめぐる闘争が起つていて。

一八九四年、ユダヤ系の参謀本部付き砲兵大尉アルフレッド・ドレフュスが陸軍の機密書類をドイツへ売却した嫌疑で終身刑に処せられたが、

九八年いらむ作家ゾラなどの知識人を弾劾し、軍部や右翼がこれに反論。

のち真犯人が明らかになって、ドレフュスは九九年釈放、一九〇六年無罪（一九〇五年、フランス軍部も承認）。

社会的大事件としてフランスの国論を二分した（「広辞苑」）。

荷風はこの事件を知つて、作家といふものは、このゾラのように、禁錮・亡命をもいとわず不正にたいして闘わなければならぬと確信してニッポンへ帰ってきた。しかし、当時のニッポンでは、大逆事件の「冬の時代」のさなかにあり、とてもゾラのように闘える情況にはないことを痛感して、彼は戯作者の道を選ぶことにした（荷風の隨筆、「花火」による）。テルはこういう荷風の態度に心から共感し、晩年に「荷風全集」を買つことのえ、彼が共産党に近づくことを本気で望んでいた。

（注）大逆事件－明治天皇暗殺計画の発覚に伴う彈圧事件。一九一〇年

（明治四三）一部の社会主義者の天皇暗殺計画を理由に、多くの社会主義者・無政府主義者が検挙され、

二六名が大逆罪で起訴。無関係者を含め二四名が死刑を宣告され、翌年一月幸徳秋水・宮下太吉ら二名が処刑された。（「広辞苑」）

（注）幸徳秋水－社会主義者。本名、伝次郎。高知県生まれ。中江兆民に師事、万朝報の記者として日露

戦争に反対。平民社を起こし、「平民新聞」を創刊。平民社解散後渡米。帰國後無政府主義に転向。大逆事件の頭目と目され、翌年刑死。

著「社会主義神髄」。（一八七一）（「広辞苑」）

（注）幸徳秋水－社会主義者。本名、高知県高岡郡で輝房、美弥の一人息子として生まれた（「ニッポンの女」）、父

は自由民権運動に共鳴し、生涯禁酒といふじめな理想主義の氣風をテルは受け継いだ。京大文学部では上田敏、新村出の指導を受ける事が後に国語国字運動につながりました（「ニッポン語」）。大学卒業後に嘱託としてロシア文学を山口茂一について学び、ブーシキンらを読む。

28歳で「改造」に「砂丘」を発表し文壇にデビューした。以降、68の論文、冊子、戯曲、小説等（長野山宣会発行「タカクラ・テルのすべて」による）を発表した。

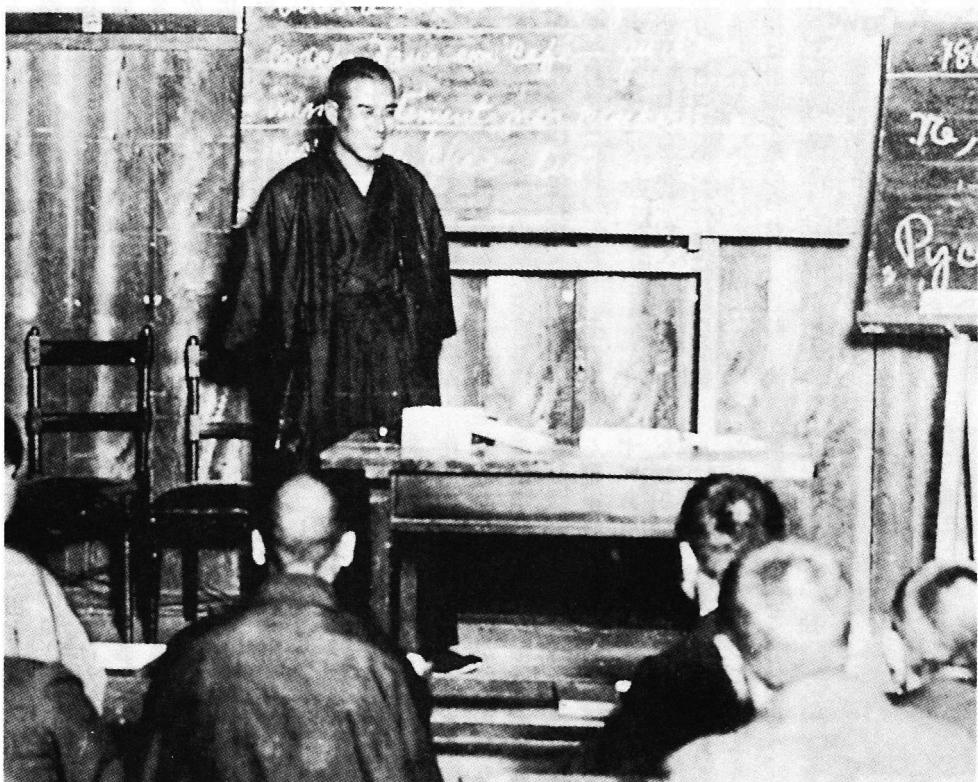
1921年、土田杏村の唱える自由大学運動に共鳴して沓掛温泉に移ったが、その隣町で有島武郎の心中事件に遭遇し

て、これまでの観念的知識人の限界を感じ、著述と「自由大学」での文学論講義にのめり込み、その指導者となる。農民運動にも関わり、山宣の刺殺、葬儀への参加を通じてマルクス主義者になり、1

933年の教員赤化事件に連座して上田署に捕まり拷問を食らう。こうした経験を踏まえて「大原幽学」、「箱根用水」が構想された。

1945年春取り調べ中に警視庁から脱走、三木清宅に立ち寄った事がばれて、それが元で捕まつた三木が獄死した。敗戦後、釈放されると日本共産党に入り、長野県委員になり、衆議院議員立候補・

当選した。マツカーサーの公職追放により中国、ソ連などに8年間の亡命生活を送り、1959年にプラハから帰国した。山野晴雄、土佐文雄らが解説している。



写真は「上田自由大学」で講演中のタカクラ・テル

### タカクラ・テル（1891-1981）

文学者・作家、言語学者、戦前は自由

大学や農民運動の指導者であり、戦後は日本共産党の国会議員として活動した。

高知県高岡郡で輝房、美弥の一人息子として生まれた（「ニッポンの女」）、父

は自由民権運動に共鳴し、生涯禁酒とい

ふじめな理想主義の氣風をテルは受け継いだ。京大文学部では上田敏、新村出

の指導を受ける事が後に国語国字運動につながりました（「ニッポン語」）。大

学卒業後に嘱託としてロシア文学を山口茂一について学び、ブーシキンらを読む。

28歳で「改造」に「砂丘」を発表し文壇にデビューした。以降、68の論文、冊子、戯曲、小説等（長野山宣会発行「タカクラ・テルのすべて」による）を発表した。

1921年、土田杏村の唱える自由大学運動に共鳴して沓掛温泉に移ったが、その隣町で有島武郎の心中事件に遭遇し

て、これまでの観念的知識人の限界を感じ、著述と「自由大学」での文学論講義にのめり込み、その指導者となる。農民運動にも関わり、山宣の刺殺、葬儀への参加を通じてマルクス主義者になり、1

933年の教員赤化事件に連座して上田署に捕まり拷問を食らう。こうした経験を踏まえて「大原幽学」、「箱根用水」が構想された。

1945年春取り調べ中に警視庁から脱走、三木清宅に立ち寄った事がばれて、それが元で捕まつた三木が獄死した。敗戦後、釈放されると日本共産党に入り、長野県委員になり、衆議院議員立候補・

当選した。マツカーサーの公職追放により中国、ソ連などに8年間の亡命生活を

送り、1959年にプラハから帰国した。山野晴雄、土佐文雄らが解説している。

（この項、小田切明徳）

## 新村出のテルへの期待

一九一二年（明治45年、大正元年）、タカクラ・テルは京都帝国大学文学部英文科へ入学。主任教授は上田敏。言語学を新村出に、ロシア語・ロシ

ア文学を山口茂一に学んだ。

一九一五年（大正4年）、卒業予定のところ、イギリス人教師とシェ

イクスピアについて論争し、こんな

不勉強な教師は相手にならないと愛想をつかし、その授業をボイコットし、卒業論文も出さなかつたので、一年留年。翌一九一六年（大正5年）七月、京都帝国大学を卒業。れいのイギリス人教師にはレポートだけを出したら、卒業してくれた。この月、主任教授の上田敏さんが亡くなつたので、代わつて新村出教授が指導教官となつた。

卒業と同時に、松竹と朝日新聞から口がかかるにつれてきた。新村教授がテルに「君はどうするつもりだ？」とたずねられたとき、テルは「もつと学問をしたいんです」と答えると、教授は「そうか、ではしばらく待つておれ」と言われた。まもなく、テルは同大学の法科・国際私法研究室（主任・跡部定次郎）の嘱託を命ぜられた。これは異例の抜擢だつた。大学では助手・嘱託・助教授・教授とのぼつて行くのがふつうなのに、助手（無給）をとびこして嘱託（月給三

十円）に命ぜられたのだから、新村教授のテルにたいする期待がどんなに大きかつたかが分かる。当時、京都帝大文科では、新村教授が人事権をにぎつていたが、テルは学生時代

語で東京まで出てくるはずはない。ふたりの最初の顔合わせが、こうしておこなわれたわけだ。テルもロシア文学科の実現に夢をふくらませていたようだ。

ゆうに、けつして大学をやめてはいかんぞ、ぜつたいにいかんぞ」と、くりかし言われたそだ。この教授の留守のあいだに、テルは大学をやめた。

こうして、新村教授の京都帝大ロシア文学科設置の夢はついえた。

から新村教授に目をかけられており、「テルくんほど文字使いの正しい学生はめずらしい」と言われていた。この嘱託のまま、テルは足かけ六年間勤めた。

テルは次のように語つている。

「新村教授には京都帝大文科にロシア文学科を設けたいとの夢があつた。まず東京帝大で同期だった八杉貞利さん（のちの東京外国语学校教授）を京都帝大のロシア文学科学長に持つてきて、その下にテルをおく。」

当時、ロシア革命のえいきようがあり、日口のあいだには複雑な問題があつたが、それにもかかわらず、教授は計画を進められた。当時、河上肇教授が京都帝大法科の教授だったが、京都帝大に経済学科が設けられたが、京都帝大全体にもどん

なわざわいが及ぶかも知れない。テルはそのことを新村教授に打ちあけただろうか？ テルには、そういう勇気はなかつたと、私は思う。ただ、大学をやめて、独立した創作家になりたいということだけを話したにちがいない。新村教授は「なにも大学をやめなくても、森鷗外さんのように、官にいながら創作をしている人もいるのだから、君もそういう道を歩けばいいじゃないか？」と言われた。こういう先例があつたからだ。

一九一二年（大正10年）五月、新村教授は、八か月の予定で欧米各国の図書館調査の旅に出られた。そのまえに教授はテルに、「私の出張ち

一九五〇年（昭和25年）、社共統一候補として高山義三を京都市市長に当選させたときに、応援に行つていったテルは、新村先生宅をおとずれ、が出版されていたので、テルがそのお喜びを申し上げると、先生は「きみがいてくれたら、助けてもらえた所だつた」と言われた。そのとき、

カバン持ちとしてひかえていた私に

も、テルのあの大きな体が急にちぢんでしまつたように思われた。

## 京都市長選の応援にも

第二次世界大戦が終るまで、長野県・東京・神奈川県を転々としていたテルは、そのあいだにも、著書を必ず新村教授に送つていた。

一九四四年（昭和19年）、テルが「ニッポン語」を北原出版（もとのアルス）から出版したときも、これを新村教授に送つていたが、新村教授は大阪のNHKラジオでこの「ニッポン語」を取りあげ、「天下の奇書」と激賞された。

一九五〇年（昭和25年）、社共統一候補として高山義三を京都市市長に当選させたときに、応援に行つていったテルは、新村先生宅をおとずれ、がいない。新村教授は「なにも大学をやめなくても、森鷗外さんのように、官にいながら創作をしている人もいるのだから、君もそういう道を歩けばいいじゃないか？」と言われた。そのまえに先生の「辞苑」が出版されていたので、テルがそのお喜びを申し上げると、先生は「きみがいてくれたら、助けてもらえた所だつた」と言われた。そのとき、

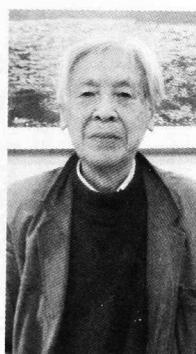
# レッド・ページに名誉回復と補償を

関谷健さん（元日吉ヶ丘高校教諭）らが署名運動

過日、関谷健さん（八五歳）が編集部を訪ねて来られ、京都におけるレッド・ページの状況や現存の人の紹介を求められました。関谷さんは1949年10月、京都市教委により日吉ヶ丘高校を懲戒免職処分され、その後、京教組執行委員などをしていましたが、一三年後、新設の府立田辺高校の教諭となりました。定年退職後は田中昌人・京大教育学部教授の下に聴講生として通り研究されてきました。

昨年10月27日、日本弁護士連合会は、兵庫県内に住む三人のレッド・ページ犠牲者の「人権救済申立」について「名誉回復と補償を含めた適切な措置を講ずる」ことを求めた勧告書を、国とレ・パを行った企業にたいして送付しました。このことを知った関谷さんは、レッド・ページ反対全国連絡センターから署名用紙を取り寄せ、まず教員組合に協力を訴え、さらに市職など他の組合のレ・パの犠牲者にも呼びかけています。全国各地ではレ・パ犠牲者の弁護士会への人権侵害救済申し立てが広がっていますが、京都ではまだ組織されていません。

関谷さんの訴え全文を掲載します。関谷さんは、京都市右京区嵯峨天龍寺北造路町18-5 府営住宅2の103（電話075-861-2156）



関谷 氏

年後の今日…

日弁連が麻生首相に勧告  
「可及的速やかにレッド・ページの名誉回復と補償を」

勧告には、それは「特定の思想、信条を理由とする差別的取扱であり、思想良心の自由、法の下の平等、結社の自由を侵害するものであり（日本国憲法19条、14条、21条、世界人権宣言2条、7条、20条）、1952年平和条約発効後には被害回復措置を容易に行うことができたにも拘わらず、今日まで放置してきた責任は重い。」とし、「司令官マッカーサーの指示に基づき日本政府が支援したもの」だから、「可及的速やかに名誉回復や補償を含む適切な処置を講ずるよう勧告する」と。

それは悪夢のような出来事  
それは悪夢のような出来事でした。京都市立の新制高校2年目に新任、授業中に突然半後の秋のある日、突然校長から呼び出され、「今すぐ学校から退去せよ」と告げられ、その後理由は「職務怠慢」による希望退職を拒否して「懲戒免職」を受ける。  
以来人事委員会への不服申請も認められず、不当労働行為の訴訟もアメリカ軍政下の「超法規的」措置として却下され、市職での大量処分も話に聞く。京教組は反対闘争に入つたが、日教組は動かず（救援資金一年半で打ち切り）、多くの全国的大労組は分裂、再編で全国的闘争は困難となり、総評→連合への道を歩む。

新憲法下に残虐な国家犯罪…  
被害者数万名

京都市は10月京都市教育委員会（教育長不破治、秘密会で決定）が市

（当時、国鉄の約1万名の人員整理（共産党員排除を含む首切り）発表直後から下山・三鷹・松川事件と奇怪な殺人・脱線事故が続き、いずれもリカ軍と吉田政府、マスメディアによる圧倒的な攻撃のもと、官公「行政整備」、民間「企業整備」名目で全産業数十万名もの大量解雇、その中で、レッド・ページの犠牲者は数万人、京都でも国労、関電、通信から府立医大の教授にまで及んでいた。教職員組合は統一組織が出来上がつたばかりの時期であった。1946京都都市教職員組合、中等教職員組合結成、メーデー復活、府教組結成  
1947新制中学開校、再編で京教組結成  
1948教育復興府民大会8千人規模で開催、教育委員選挙・公選教育委員会発足、新制高校は三原則を確認、教育公務員法制定、スト・権剥奪  
1949高校教組を含む京教組結成、7月京都市定数条例制定・職員208名、交通局306名に解雇通告、9月全国教育長会議「赤い教員」追放決議  
教員レッド・ページは市ののみ、府は行わず

### 基本的人権の侵害は許せない

### レッド・ページ犠牲者の名誉回復と国家賠償を求める請願

#### 請願の趣旨

1949年から50年にかけてアメリカ占領軍の指揮のもと、日本政府と財界が積極的に加担し、4万人と推定される日本共産党员と支持者や労働組合活動家を「企業の破壊者」などの烙印を押して、強権的に職場から追放しました。

犠牲者 こんなに多く
1949年 官公庁の行政整理の中で... 10,930人
1949~50年 民間の企業整備で... 推定20,000人
1949~50年 民主的教員の追放... 約1,150人
1950年 本格的なページ... 12,150人

これは、国民の基本的人権を明確に規定した日本国憲法を踏みにじり、連合国による日本民主化政策を定めたボツダム宣言にも違反した無法・不当な弾圧でした。

レッド・ページの結果、犠牲者とその家族は計

り知れない損害をこうむり、自ら命を絶った人さえあります。また、国民生活の向上、自主的な経済復興、民主主義の確立などを要求する運動は大打撃を受けました。

しかし、それから60年近くの間、日本政府も財界も、レッド・ページを強行した重大な責任を認めて謝罪したことはなく、犠牲者にどんな救済策もおこなっていません。これが今日、少なからぬ職場で思想差別が続いている根源となっています。

よって私たちは、基本的人権の侵害は許せないという立場から、次の項目の実施を要請するものです。

#### 請願の項目

- 1、国は、レッド・ページが憲法やボツダム宣言を蹂躪した無法・不当な弾圧であったことを認め、犠牲者に謝罪すること。
- 2、国は、特別法を制定して、レッド・ページ犠牲者の名誉回復と国家賠償をおこなうこと。

氏名	住所	募金

立学校教職員27名に対しても『職務怠慢』名目で退職勧告、拒否した9名（組合専従8名、現場1名）に懲戒免職処分を強行。京都府教育委員会は人員整理のみでページを含まなかつた。

今日、組合専従役員だった安井真造、神野七五三両氏らは故人となり、連絡のついた次の2名で全国に呼応して署名運動を始めました。ご協力をお願いしま

す。  
峠田豊次（京都市立大将軍小学  
校教諭）京都全官公書記長専従、  
休職1年後の退職処分  
関谷 健（京都市立日吉ヶ丘高  
校教諭）懲戒免職後全員やむなく和解退職、以降復職拒否  
なお、他にご存じの方がおられましたら、ご連絡をお願いしま

ます。』  
京都におけるページは、七月三一日に夕刊京都二一名、京都新聞六名、朝日支局四名、共同通信支局一名があり、八月電産に六三名、九月二二日大映京都に二二名、二六日日通に一七名、そして二七日には松竹京都一八名が通告された。一〇月に入ると一般民間産業に波及し、一〇月四日中日本重工五名、

一〇月一八日三谷伸鋼一名、二一日島津一六名、丹後ガス一名、二三日に三洋油脂五名、宇治化學二名、二五日寿工業一〇名、二八日日本レイヨン宇治一二同研究所五名、二九日京福電鉄三名、三〇日井上電機一五名、京聯自動車五名、大日本印刷京都三名、日本電池八名、松下京都四名、三一日日本輸送機二名が指名された。さらに一ヶ月に入つて二日京都染工三名、四日京都機械四名、九日日本レース五名、一八日協和銀行二名、二〇日帝国銀行二名とつづいた。

京都におけるページが警告も

### 京都におけるレッド・ページ

その多くは組合も承認した。島津は一般投票でストか地労委申請かを決め、投票結果にしたがつて地労委へ申請したが若干の条件獲得のみで終わった。この間被追放者と応援者が門前に押しかけ若干のトラブルも発生した。井上電機は一月六日、組合が二〇二対一三七で承認した

京都におけるページが警告も

が、被追放者その他はこれを不當として一三日に門前におしよせ、国警官公労・公企労関係でも追放がおこるといふ事態が起つた。一月二五日寿工業も同様、十条通りで乱闘となり四名が検束された。この間、二五日寿工業も同様、十条通りで乱闘となり四名が検束された。この間、京都におけるページは、七月三一日に夕刊京都二一名、京都新聞六名、朝日支局四名、共同通信支局一名があり、八月電産に六三名、九月二二日大映京都に二二名、二六日日通に一七名、そして二七日には松竹京都一八名が通告された。一〇月に入ると一般民間産業に波及し、一〇月四日中日本重工五名、

一〇月二四日、井家上専府労働部長は「レッド・ページにゆきすぎがあつてはいけない。これは共産党員の追放ではなくリアル・アクティヴ・トラブル・メイカーレの追放である。便乗解雇には警告する」と述べた。しかし、いざれにしても大勢が定まってから言明された。この言明にみられたように便乗はたしかにあつた。いざれにしても合法的なものとは受けとれなかつた。この問題に対してもは、どの経営者も「これは組合に説明することでも相談することでもない」といふ一方的な態度に終始した。島津第一工業製錬など地労委に申請したところも、会社はたてまえとしては、どの経営者も「これは組合に説明することでも相談することでもない」といふ形でだけ組合に対したのであつた。

# 「京都社会労働問題研究所」が

## NPO法人で再発足

宮田栄次郎氏が主宰していた京都社会労働問題研究所が、このほどNPO法人として再出発しました。昨年10月6日に「設立を祝う会」が開かれ、12月には会報「社労研」が復刊されるなど新しいスタートをきました。

同研究所は1973年に宮田氏が任意団体として立ち上げ、労働組合や自治体、民主団体の年史誌編纂や調査活動などを続けてきました。しかし宮田氏は体調・年齢を考慮し1998年に事務所を閉じ、「私一代限りのものとして幕を引きました」(宮田氏)。ところが、合同織維労組・佐々木

真成書記長ら後輩たちが、なんとか再発足しようとよびかけ、NPO法

人の認可を得て「新」社労研が誕生したものです。事業内容は、社会労働運動史関係資料の収集・管理、労組・団体の運動史誌編纂援助・受託、労働関係各種調査の実施と分析・報告、各種講座企画と実施、会報発行など。

理事長・勝本光一、副理事長・宮田栄次郎、理事・稻葉伸二、佐々木真成  
会費=個人3000円(団体一口  
5000円)  
連絡先=電話075-801-4  
090、ファクス075-801-4  
4050

### 旧制園部中学の同窓生

#### 野中広務氏と畠田重夫氏が 「平和新聞」新年号で対談

日本平和委員会機関紙「平和新聞」新春号が、野中広務・元自民党幹事長(83歳)と畠田重夫・日本平和委代表理事(85歳)の対談を3頁にわたり載せ話題となつた。

二人は戦前、京都府の旧制園部中学校(現園部高校)で一緒に学んだ間柄。戦後は全く違う政治の道を歩みながらも、共に戦争を体験した世代。

## BOOK

### 「水墨画に魅せられて —六十からの手習い—

入江実夫 著



故入江実夫氏

### 極の中に入れられたゲラ刷り

夫人・道子さんは語る。  
「画集には、水墨で描かれた松竹梅や野菜、草花、中国旅行での桂林や地元・河西の風景、さらには好きだった釣りで持ち帰った魚などが収録されている。入江さんの昔を知るものにとつては、いつの間にこんなに水墨の微妙な濃淡を描くように上達したのか驚き、感心するのである。」

(A5変型・32頁。私家版)(ゆ)



ため倒れ、リハビリ中、最後は大動脈瘤破裂で今年一月一九日に亡くなつた。「この画集が間に合わなかつたことが悔やまれますが、ゲラ刷りを極に入れることができたのが、せめてもの救いとなりました」と

著者は1928年丹後半島に生まれ、尼崎の川崎航空機の養成工、戦後、旋盤工として、労働運動や社会運動に携わり、共産党地区・府幹部として農民運動、学生運動、部落解放運動を指導してきた人。引退後は滋賀県に移り住み、友人の故・田中弘氏(元共産党京都府委員長)や同夫人・未年子さんらにすすめられて六十歳を超えてから十年間、水墨画を習う。

この画集は「七七歳という節目にあたり、思い切って出版しよう」と〇六年秋に思い立ち、二年がかりでようやく今年二月、出版にこぎつけたもの。ところが、昨年一〇月、脳幹部出血の

対談で野中氏は田母神前航空幕僚長の発言を批判するとともに「声が続く限り平和の語り部として叫び続けていかねば」と発言。また「政治家たちが、過去の歴史認識を完全に欠落したまま、再び誤った道に走っています。それにブレーキをかけてくださいのが、平和新聞の読者のような人だと思います。だから、これから仕事に自信を持つて仲間を増やし、国の基本を揺るがないものにしていくて欲しい」と先輩・畠田氏にエールを送りました。

# 悼 若杉光夫さん

敗戦直後、京大在学中に京都の共産党组织再建に尽力した映画監督



太郎の推薦で入党した」と松尾尊児氏は書いています。『戦後日本への出発』岩波書店)。46年3月6、7日に開かれた会議で若杉は府党建促進委員(11人)に選ばれています。(かもがわ選書『戦後に任命され、46年5月1日、11年ぶりに復活した第17回メーデーでは、京都御所建礼門前を出発した共産党的隊列の旗手を務めました。まだ京大法学部在学中の学生でした。(『戦後京都のあゆみ』絲屋寿雄)

映画監督・演出家の若杉光夫さんが昨年12月18日、呼吸器不全のため神奈川県相模原市内の病院で死去しました。86歳でした。自宅は東京都狛江市駒井町3の4の9。喪主は長女の小林民さん。告別式は近親者のみで池上本門寺近くのラビスホール池上で行われました。

若杉さんは1922年、大分県生まれ。京都大学法学部卒。47年、大映京都撮影所入所、50年レッド・ページにより退社。51年、劇団民芸入団、演出部所属。映画監督作品に「母のない子と子のない母と」(52年)、「ガラスの中の少女」(60年)、「風立ちぬ」(76年)など多数。主な舞台演出作品に「星の牧場」「雨」「初恋」など。一昨年8月死去した俳優・南風洋子さんの夫でした。「しんぶん赤旗」が報じた死亡記事です。若杉さんの話を生前にお聞きしたいと思っているうちにその機会が永遠になくなってしまいました。

## 「学生よ立ち上がり！」 終戦直後、京都の民主運動に貢献



### 「復活した第17回メーデー」

卒業後、大映京都撮影所に入った後も活動を続けますが、50年9月15日、レッド・ページで解雇され、翌年、劇団民芸に入り亡くなるまで進歩と革新の立場を貫きました。

また2007年8月に亡くなった夫人の南風洋子さん(女優、宝塚歌劇団出身)は、京都府知事選挙の応援に何度も京都に駆けつけマイクを握られたことが印象に残っています。若杉さんは、南風に誘われて夫人のもとへ旅立たれたのでしょうか。

戦後の時期、京都の地で若き情熱を燃焼した若杉さん。その活動をもっと詳しく知りたいものです。ご存じの方の寄稿をお待ちします。

1945年10月21日、京都新聞会館で開かれた「解放運動犠牲者出獄歓迎大会」は、立錐の余地なき超満員で熱氣に溢れていました。司会太田典礼

護士宅、12月末には安井病院二階で全員集会が開かれ四十数名が参加していますが、この会議にも若杉は出席していました。「若杉は小林為

(湯浅俊彦)

### 今年の合祀者60人

今年も無名戦士合葬追悼会は3月18日、東京の日本青年館での式典、青山靈園・無名戦士墓前での墓前祭がとりおこなわれます。また京都解放運動戦士合祀追悼祭は5月10日前午10時から知恩院の碑前で行われますが、ここに合祀されることになった方は60人。その中には次の方々が含まれています。

池田一郎(75)府立高校教諭、戦争遺跡保存・平和運動。  
恵島良樹(72)演劇文化運動、中小企業家同友会常任理事。  
大江 洸(78)全労連議長、自治労連中央執行委員長。  
岡部伊都子(85)不戦と反差別を貫いた文筆家。  
木下英一(82)上京民商副会長、中小企業家同友会常任理事。  
高沢 栄(88)第一回母親大会参

加、下京で活動。  
竹村 長(79)京商連事務局長、共産党市議6期。  
藤本了江(84)日本AALA常任理事。左京区在住。  
古川秀夫(84)京都平民懇事務局長、年金者組合で活動。  
山中 登(88)共産党宇治市議4期、市議会副議長。  
湯尻茂次(82)京都映サ会長、京都映画センター役員。

# 忘れ得ぬ人

能勢克男さん

## 初期の消費者運動

京都の政治革新運動を語る時、困難な闘いに取り組まれた弁護士では小林為太郎・能勢克男両先生のお名前がよく出でてきます。ここでは能勢先生の名を借りて、初期の消費者運動について、私の経験したごく狭い範囲で述べます。

戦後になって「カネミ油症」「イ

タイイタイ病」「森永砒素ミルク」「水俣病」など食品の公害事件が発生し「安全な食品を」というのが消費者の願いででした。生活協同組合運動は戦前から、キリスト者の賀川豊彦等が提唱して行われていました

が、京都では同志社に施設を借りてその運動が胎動していく「京都洛北生協」が一九六三年、下鴨葵小学校を会場に五〇〇人で創立総会を行つ

てから地域生協としての活動が発足しました。「産直」という言葉もなく「信頼できる商品を協同で仕入れて分け合う」という取り組みでした。現在の下鴨センターを本拠に、職

## 洛北生協創立の頃

馬原 郁（本会世話人）

員は自転車に見本品を持ち、注文をとつて夕方に配達するというシステムでしたから、商品が届くのは遅い時間でした。

家族からは「うちはいつも昨日の食品だ」と言われていました。一階が事務所と倉庫。二階にお住まいの内原

ます。大山乳業との取引が始まり、生協牛乳は「産直第一号」という栄誉を担つて今も続いています。

産直食品は多数生まれましたが、厳しい流通業界の中で次第に姿を消していきます。当時は保存、着色、歯ごたえ、見栄えなどの効果を因り、多くの添加物が含まれた食品が製造されていました。組合員は沢庵や紅生姜で染めた布で洋服を仕立て、ファッショントレンドをしたり、専門の職員による実験ではうどん、ハムなど検査薬をかけると真っ黒になるなど添加物の学習をしたり、専門の話し合いも多数持たれました。

能勢克男（のせ かつお）

1894年、仙台市生まれ。東京帝大法医学部卒。同志社大に講師として招かれ、1924年同教授。29年、同志社大学を辞職、弁護士開業。京都家庭消費組合設立、30年同組合長。36年「土曜日」発刊、38年治安維持法違反で検挙、40年山科刑務所から釈放。46年「夕刊京都」創刊、編集局長。64年京都洛北生活協同組合創立、理事長に。79年死去。

鳥取の大山乳業鎌谷専務は京都市内で小売店の牛乳を飲み「京都市民はまずい牛乳を飲んでいるなあ」と言われたのを直接聞いたことがあります。

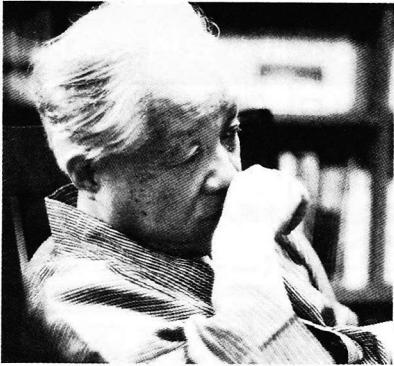
## 大山乳業と「産直第一号」

鳥取の大山乳業鎌谷専務は京都市内ではお金借りなさい」と言われ、家の権利書を差し出されました。組合員も出資金増資、組合債に取り組み、最終的には能勢先生の権利書はお返ししたそうです。

## 「頼もし隣人たらん」

一九七四年には京都府下全域に活動が広がり「京都生協」と名称を変えました。業界ではより大きく纏まる必要に迫られ、近畿を縛めたKコープ、そして日本生活協同組合に結集し、食品安全の確認も大きな施設を建設して利用されています。京都では店舗も二店に増え、組合員の構成も様変わりしてきました。「のんびりと事業ができた」年は一年もありませんが「頼もし隣人たらん」

「一人は万人のために、万人は一人のために」は生協の基本理念として「せいきょうう会館」の会議室には能勢先生の写真と共に掲げられています。



## 民主運動史を語る会例会案内

日時 4月24日（金）午後2時～  
会場 かもがわサロン

上京区堀川通出水西入 ☎075-415-7902

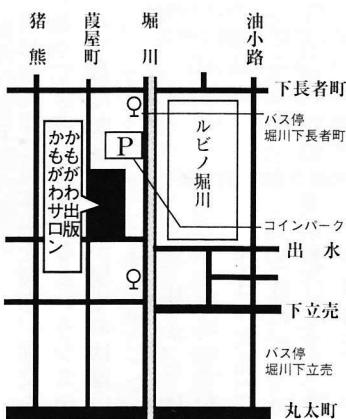
### 「教員のレッド・ページと私」

語る人 関谷 健さん

(当時京都市立日吉ヶ丘高校教諭)

レッド・ページから60年、名誉回復と国家賠償を

求めて京都でも運動が始まります。今号に載せた元日吉ヶ丘高校の関谷健さんから、教員のレ・パはどう強行されたかについて語っていただきます。



## 山宣暗殺者の黒幕を追跡

本庄豊氏がテロルの時代語る

2月例会

(下京区)で開かれた2月例会では、

本庄豊氏(立命館宇治高校教諭)が

「山宣暗殺者・黒田保久二を追跡して」と題して一時間にわたって報告。

本庄氏は、特高資料を調べるなかで戦前の地域新聞「山城」を発見、山宣を支えた人々の研究をすすめ、地元紙に連載を始めたところ、読者から「山宣暗殺スクランプ帳」が提供

例会は隔月に開きます。どなたでも参加できます。会員は無料、会員外の方は300円。

## 情報

### スクランプ



益川さんがスピーチ  
瀬戸内寂聴さん講演

5月2日に憲法集会

日本うたごえ祭典も京都

「生かそう憲法・守ろう9条  
5・2憲法集会 in 京都」(憲法集会実行委員会主催)が5月2日(祝)

午後2時から円山音楽堂で開かれます。瀬戸内寂聴さんの講演のほか、ノーベル賞受賞の益川敏英さんもスピーチする予定。集会後、憲法ウォークがある。

5月2日に憲法集会  
益川さんがスピーチ  
瀬戸内寂聴さん講演

日本うたごえ祭典も京都  
「生かそう憲法・守ろう9条  
5・2憲法集会 in 京都」(憲法集会実行委員会主催)が5月2日(祝)  
午後2時から円山音楽堂で開かれます。瀬戸内寂聴さんの講演のほか、ノーベル賞受賞の益川敏英さんもスピーチする予定。集会後、憲法ウォークがある。

日本うたごえ祭典も京都  
「2009年日本のうたごえ祭典・京都」この町に生きるうた」と  
銘打つて10月23日(金)から25日(日)まで、府立体育馆を中心に行催。同実行委員会の主催で、24日の「大音乐会」や「合唱發表会」など多彩。老若男女20000人のいぶき

合唱団員を募集している。(事務局  
京都うたごえ協議会内。☎ 075-811-7851)

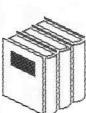
3・27品川正治講演会

3月27日(金)午後6時30分、西陣織会館6階ホール(堀川今出川下ル西側)。品川正治氏(経済同友会終身幹事)が「人間の目で見た日本経済」と題して講演。参加費700円(青年・学生400円)。主催は京都革新懇と北・上革新懇。

京都労働運動OBの会第30回総会と周年記念パーティー

6月1日(月)午後2時30分より総会、4時より記念パーティー。京都国際ホテル。

編  
集  
後  
記



され、これをもとに暗殺者や、その黒幕が戦後代議士になつた特高であることをつきとめる。そこから追跡の旅が始まり、その調査過程は近刊の『テロルの時代・山宣暗殺者黒田保久二とその黒幕』(群青社)に載せられるとして語った。

また本庄氏は、今後の研究課題として本格的な山宣評伝の執筆、山宣長だった住谷悦治の研究と執筆などをあげた。会場には17人が参加、刷り上がりばかりの同氏の著書『山本宣治――人が輝くとき』(学習の友社)も披露・販売された。

▼予定の原稿が届かなかつたり、締め切りを大幅に過ぎて出稿されたり、今号は苦勞しました。急遽穴埋め的に2、3本の原稿を書きました。もっと調べて思つたのですが時間不足で申し訳ありません。「この一枚」「悼」「忘れ得ぬ人」や本の紹介など会員のみなさんの積極的な投稿をお待ちしています。メールで送信であります。

よしらへ  
yusasa@kanagawa.co.jp